

## 基本方針 1

地域住民等の広域移動を支える持続可能な広域交通ネットワークの維持・確保

## 目 標

①多様な目的に対応した、持続可能な広域交通の確保 ②公共交通の担い手確保による路線の維持・確保

## R 5 年度の主な取組 (成果)

## 施策① 広域交通ネットワークの維持・確保に向けた協議・検討



- 広域交通の維持・確保の方針を設定 (協議会)

令和5年6月29日付け  
「さっぽろ連携中枢都市圏地域公共交通計画」を策定

- 路線の最適化等の協議・検討 (市町村・事業者・振興局)

地域を支える広域交通ネットワークを維持・確保していくために、路線の最適化にかかる協議・検討を実施

- 運行形態の見直し等の協議・検討 (市町村)

変化する社会情勢や移動ニーズとの適合性等を検証・評価し、地域の実態に合わせた運行形態の見直し等を実施(デマンド交通の実証運行等)



石狩市「いつモ」

## 施策② バス運転手の確保に向けた活動



- 就職活動イベントなどの人材確保の取組

- ・ 公共交通の運行に必要なバス運転手を確保するため、移住イベントや就職イベントにおいて、求人情報等の発信等を継続 (市町村)
- ・ 賃金や労働条件の見直し、資格取得を含めた人材確保策を検討 (事業者)
- ・ バス運転手合同採用説明会inさっぽろ(9/30)  
(道・振興局)



- バス運転手の業務内容などの情報発信

- ・ バス運転手を業務内容や魅力、社会的重要性などを各種媒体やイベントにおいて発信を継続 (市町村)
- ・ 振興局HPにバス運転手採用情報リンクを掲載  
(振興局)

## R 6 年度の取組方針 (案)

- 地域の実態に合わせた運行形態の見直し等の協議・検討
- 変化する社会情勢や移動ニーズとの適合性等を検証・評価し、役割や必要性に変化が生じた場合に見直しを行う

- 人材確保に向けた各種就職活動イベントの開催や移住施策との連携を進める
- 運転手業務の魅力発信等の積極的な広報活動に取り組む

基本方針 2

生活圏交通と幹線・広域交通の持続性向上によるシームレスな交通体系の確保

目 標

③幹線・広域交通・生活圏交通の持続の円滑化

R 5 年度の主な取組 (成果)

施策③ 持続性の強化や乗換に係る利便性の向上

● 持続性の向上や拠点機能強化

- ・ 幹線・広域交通と生活圏交通(コミュニティバス)の乗換拠点において、ダイヤの見直しによる接続性の向上を検討(市町村)
- ・ 駅のバリアフリー化など、地域住民や来訪者など利用者が公共交通を使いやすい環境づくり(市町村)



● 札幌駅バスターミナルの整備

- ・ 札幌駅バスターミナルの整備は札幌駅前の再開発事業と一体となっており、札幌駅南口周辺に点在するバス停留所を集約した利便性の高いバスターミナルの再整備事業に着手(国・札幌市)
- ・ R5年10月、札幌駅周辺バスのりば変更について各種媒体で周知(市町村・事業者・振興局)



札幌市HPより

● JR千歳駅前の再整備(千歳市)

利用者の利便性、安全性、公共性を向上させるため、JR千歳駅西口広場の再整備工事業に着手



千歳市HPより

● 利便性・快適性向上等(市町村・事業者)

- ・ コミュニティバス等において、利用者の利用実態に合わせたダイヤ改正や路線変更を検討
- ・ 利用者にわかりやすい公共交通を目指し、運行ダイヤや経路などのオープンデータを更新するほか、バスロケーションシステムによる運行情報の提供を実施



当別町HPより

R 6 年度の取組方針 (案)

- 幹線・広域交通と生活圏交通の乗換拠点において、ダイヤの見直しなど接続性の向上やバスターミナルの整備など拠点機能の強化を行う
- 乗降場の集約やリアルタイム運行情報の提供など乗換環境や情報提供手法の改善により、地域住民や来訪者など利用者が公共交通を使いやすい環境づくりに努める

基本方針 3

公共交通の利用促進による持続性の確保

目標

④公共交通の利便性向上と意識醸成による利用促進

R 5 年度の主な取組 (成果)

施策④ 公共交通利用の意識醸成に向けた取組

● マップ・時刻表等の作成・配布 (市町村)

地域の公共交通を持続的に維持していくため、地域住民や来訪者に向けた公共交通マップや総合時刻表(JR・バスなど複数の交通機関を掲載)、乗り方ガイドを作成し、配布



江別市HPより



千歳市HPより

● 公共交通利用に係る広報活動等

- 公共交通を積極的に利用してもらうためホームページや広報誌、SNS等による発信を活用して公共交通の利用促進を図る取組を推進 (市町村)
- 運転免許自主返納者や高齢者を対象としたバスやタクシーの運賃助成等を通して、高齢者が運転免許を返納しやすい環境づくりを行う (市町村)
- 大学生による公共交通利用促進プランの作成を支援 (振興局) ※資料3-1



大学生による現地調査の様子 (振興局、石狩市内)

R 6 年度取組方針 (案)

- 地域住民や来訪者に向けた公共交通マップ、総合時刻表等を作成・配布する
- 広報誌等で公共交通に関する情報の提供を行う
- 公共交通を積極的に利用するための動機となる取組を推進

## 大学生による公共交通利用促進プランの作成支援

### 1. 概要

石狩振興局では、地域との連携・協力のもと、地域に根ざした政策を推進する振興局独自の事業として「地域政策推進事業」を実施しており、当該事業の一環で、平成29年度から、石狩管内の大学と連携し、学生がその柔軟な発想や専門能力を活かした地域活動に取り組むことにより、地域ニーズへの対応・地域活性化を図るとともに、学生の実践力養成や地域とのつながり強化などを旨とする事業を実施。

令和5年度は、北海学園大学の学生が、石狩地域における公共交通の需要喚起策として「路線バスを活用した旅行プラン」の企画・提案を活動テーマとして設定し、年間を通じて、学生の活動支援を行った。

### 2. 参加学生

北海学園大学経済学部3回生 13名（藤田准教授ゼミ）

### 3. 活動の内容

- ① 「石狩市」を軸として、路線バスを利用した旅行プランを企画  
3グループに分かれ、  
「日帰りプラン」と「1泊2日プラン」を企画
- ② 旅行プランの実践(現地調査によるプランの検証)
- ③ 最終プラン作成及び発表



ゼミの様子(計画の情報提供等)

### 4. 支援の内容

- ① 「さっぽろ連携中枢都市圏地域公共交通計画」の概要や石狩地域の公共交通の課題等について情報提供及び学生からの質疑応答
- ② プラン作成時の助言、情報提供
- ③ 石狩市における現地調査時のサポート



現地調査の様子

日帰りプラン案(一部)



1泊2日プラン案(一部)

